

TCM

TCM
Tokyo College of Music High School
東京音楽大学付属高等学校

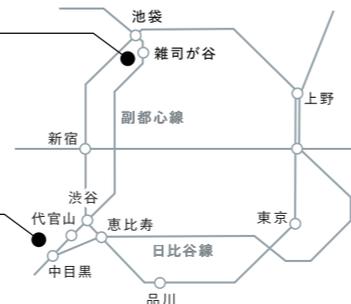
〒171-8540
東京都豊島区南池袋3-4-5
TEL.03-3988-6214
FAX.03-3982-9273
fuzoku_koko@tcm-koko.ed.jp
<https://tcm-koko.ed.jp>



Google Map

池袋キャンパス

J R / 「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約15分
私 鉄 / 西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約15分
地下鉄 / 丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約15分
副都心線「雑司が谷駅」より徒歩約5分
都 電 / 荒川線「鬼子母神前停留場」より徒歩約3分
都バス / 「南池袋一丁目」より徒歩約3分



中目黒・代官山キャンパス

J R / 「恵比寿駅」より徒歩約14分
私 鉄 / 東急東横線「中目黒駅」・「代官山駅」より徒歩約5分
地下鉄 / 日比谷線「中目黒駅」より徒歩約5分



Google Map



TCM

Tokyo College of Music High School
東京音楽大学付属高等学校

創立93周年

音楽を主軸に、自分らしさを解き放ち クリエイティヴに生きよう。

目次

- 01 イントロ
- 03 校長あいさつ
- 04 学びの特色・沿革
- 05 授業内容・学校行事
- 07 声楽専攻
- 09 器楽専攻 鍵盤楽器
- 11 器楽専攻 弦楽器
ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/
コントラバス/ハープ/クラシックギター
- 13 器楽専攻 管打楽器
フルート/オーボエ/クラリネット/ファゴット/
サクソフォーン/ホルン/トランペット/
トロンボーン/ユーフォニアム/チューバ/
アコーディオン/打楽器
- 15 作曲専攻
- 17 音楽総合コース
- 19 音楽総合コース・セルフデザインクラス
- 21 卒業後の進路
- 22 入学試験・学費
- 23 講習会・学校説明会
- 24 制服
- 25 教職員・実技レッスン担当教員
- 27 年間行事・一日の流れ
- 29 キャンパス紹介・Webサイト・SNS





「豊かな音楽環境×総合的な学び」 武石 みどり

東京音楽大学付属高等学校の特徴は、音楽を中心としたさまざまな学びの中で自分の関心を広げ、追求することと並行して、自分らしさに気づくことを重視しているという点です。この考えの下に本校では、生徒一人ひとりが実技を磨き音楽的に成長することのみならず、大勢の人がいてこそ可能な学び—すなわち、人と人とのコミュニケーションの中で自分を見つめ直し、また周りの人から学ぶこと—に重きを置いています。

音楽は人々に安らぎを与え、感動を与えます。そのような音楽をみずから生み出し、届ける体験ができたならどんなに素晴らしいことでしょう。でもいざ音楽を学び始めると、自分が何をしたらいいのか、どこに向かっ

ているのか、一人では迷うかもしれません。音楽高校で学ぶことのメリットは、同じように音楽を志す仲間とさまざまな体験をともにできること、その体験を通して、音楽を真ん中に据えながらも多様な道があることを発見し、その中で自分らしさを生かせる道を模索していけるということです。

音楽にも人生にも唯一の正解があるわけではなく、複数の答え、ひいては無限の可能性があります。豊かな音楽環境での総合的な学びを通して大きく視野を広げ、音楽のもつチカラを感じ取り、心から楽しみ、自分の音や言葉で表現しましょう！これまで音楽を続けてきた人、そして音楽が好きな人たちを心より歓迎いたします。

学校としての使命

変革の社会において、自分らしさをもちつつ規律と礼節を尊重することで、多様な分野とコラボレーションしながら、音楽を通して人生を直感で描くことのできるクリエイティブな人材を育てる。

私たちの教育的な価値

ポジティブに失敗しよう
多様性と共鳴しよう
自分を洞察しよう
美的衝動を鍛えよう
トレンドに敏感になろう



学びの特色

● 充実したアンサンブル授業

オーケストラ・吹奏楽・合唱・声楽演習(オペラ)・室内楽・ピアノアンサンブルなどの授業は、東京音楽大学教員と高校教員が協力して行っています。発表の場としての演奏会を数多く企画しており、充実した学びの場となっています。

● 少人数制の授業

ソルフェージュ(聴音・新曲)・音楽理論、英語の授業は、1つの学年を4~5クラスに分けグレード別の少人数制で学び、一人ひとりに合わせた丁寧な指導を心がけています。全員が集中して取り組める、落ち着いた雰囲気の中で学べます。語学教育にも注力しており、ネイティブスピーカーの教員による語学に触れる機会を設けています。生徒が語学に親しみながら学べる環境づくりを大切にしています。

沿革

- 1932(昭和 7)年 ・明治40年設立の現「東京音楽大学」の前身である「東洋音楽学校」の音楽教育を早期の若い年齢層から行うため、東洋音楽学校普通科(器楽部、声楽部、舞踏部)を新設
- 1943(昭和18)年 ・東洋高等実業女学校(4年制)開設
- 1949(昭和24)年 ・東洋高等実業女学校廃止し東洋高等学校(音楽課程)開設
- 1963(昭和38)年 ・「東洋音楽短期大学」を「東洋音楽大学(4年制)」に移行設立したことに伴い東洋音楽大学付属高等学校に改称
- 1969(昭和44)年 ・「東洋音楽大学」を「東京音楽大学」に名称変更したことに伴い東京音楽大学付属高等学校に改称
- 1977(昭和52)年 ・豊島区南池袋より文京区関口に移転
- 2004(平成16)年 ・音楽総合コース新設
- 2020(令和 2)年 ・文京区関口より豊島区南池袋の東京音楽大学池袋キャンパス内に移転
- 2022(令和 4)年 ・東京音楽大学付属高等学校創立90周年
・音楽総合コース・セルフデザインクラス新設

自由に音楽を表現するために。 音楽を追究する、多様な世界を追究する。

音楽科目

ソルフェージュ

ソルフェージュは音楽家として自立するために必要な能力を養うための科目です。基礎的な読譜力を養うだけでなく、楽曲の構造、形式などを楽譜から読み取る能力を修得します。音楽作品をより深く理解し、自身の演奏においても作曲家の意図を把握してより表現力のある演奏家になることを目指して、本校ではソルフェージュ教育に力を入れています。

- 聴音:「単旋律聴音」、「対位2声聴音」、「和声聴音」の3種類の課題を聴き取り、楽譜上に正しく書き表すことを学びます。旋律の動きに伴う和声や対旋律の変化を正しく認識し、楽譜に書き表すことや和声進行について学びます。
- 新曲:初めて見る楽譜から音楽を正確に読み取り表現することを学びます。演奏家にとって必要な「楽譜から即座に音楽を読み取り、その音楽を演奏によって表現する力」を育てます。

音楽理論

豊かな音楽性を身につけるためには、楽譜から音楽を読みとる能力、感じとる能力が必要です。

- コードネーム:コードネームの知識と即興的な演奏技術を身につける授業で、メロディーに適切な和音をつけるための理論を学び、弾き歌いを実施します。
- 和声:調性音楽を基にした機能和声を学び、音楽の仕組みや規則を修得します。
- 選択履修:基礎知識を修得後の3年次には、「オーケストレーション」「作曲」「編曲」「ジャズ奏法」などの中から、生徒それぞれが希望した分野の授業を履修します。自分が音楽家としてどのように確約していきたいかを考えるとともに、そのために将来役立つ知識と技術を身につけることができます。



ソルフェージュⅠ(聴音)



歴史総合



ソルフェージュⅡ(新曲)



英語コミュニケーションⅢ



科学と人間生活



数学



国語表現基礎



体育

一般教科

国語／地理歴史／公民／数学／理科／保健体育／
外国語／家庭／情報／芸術(美術)

本校では、一般教科の授業も非常に重要であると考えています。音楽家として成熟していくためには、音楽だけでなく幅広い知識と視野をもつことが重要です。音楽以外の科目を学ぶことで、社会全体に対する理解が深まり、音楽の背景や文脈についても広い視野をもつことができます。さらに、批判的思考力や分析力が養われ、音楽の解釈や表現においてもより深い洞察力をもつことにつながります。

また、言語や文学、歴史を通じて、効果的なコミュニケーションスキルが養われ、音楽活動におけるプレゼンテーションやコラボレーションにおいて有意義な能力となります。

学校行事

演奏会

個人レッスンやアンサンブル授業の発表の場として、さまざまな演奏会を開催しています。舞台上で演奏する経験は、多くの学びを得られる場となります。

体育祭

一般的なりレーや玉入れなどの競技に加えて、生徒たちの創作ダンスを披露するなど、音楽教育を重視する学校ならではの特色を生かした演目を楽しみます。

音羽祭(文化祭)

生徒たちが日ごろの学修を生かした音楽の才能を発揮し、完成度の高い演目を披露します。プロの音楽家や卒業生をゲストとした特別公演なども行われます。

校外学習

東北の被災地を訪れ、現地の方々と交流を図るイベント。宿泊先ホテルでのコンサート企画・運営・演奏の実施を通し、音楽マネジメントを学ぶ機会もあります。



鍵盤楽器

器楽専攻

楽器の王様と、とことん向き合う。

器楽専攻(鍵盤楽器)の特徴

すべての音楽家が基礎として学ぶピアノ。華やかなステージで演奏するプロのピアニストを目指すのはもちろんのこと、ピアノを学ぶ意義は、音楽の本質を理解し、自分の感性を磨き上げる点にもあります。ピアノ1台あれば、1人でさまざまな音楽を表現することができるのです。本校ではピアノ独自の特性を修得するために、個人レッスンやピアノアンサンブルを始め、日々の練習や学校生活を通して多様性と洞察力を磨きます。

- ピアノ
ピアノを学ぶ生徒に、演奏技術や音楽性を身につけてもらうことを目的としています。オーディションに合格すれば、ピアノ演奏家コースに転専攻することもできます。
- ピアノ演奏家コース
ピアノをより深く追求し、研究する能力のある生徒のために設けられています。担当教員により各自に見合った課題が選ばれ、バロックから現代曲まで学ぶことができるように考慮されています。
- ピアノ演奏家コース特別特待奨学生
ピアノ演奏家コースの中でも特に才能があり、卓越した音楽性・技術を有する生徒のために設けられています。
- ピアノ・創作コース
ピアノ正科の生徒と同様に、ピアノのレッスンを受けながら作曲講師陣のもとで専門的に作曲を学ぶことができます。体系的に音楽理論を学ぶことで、本格的に楽譜を書く能力が養われます。

器楽専攻(鍵盤楽器)の生徒のための音楽科目

- ピアノアンサンブル: 連弾や2台でのピアノ演奏を通して、2人で音楽表現を創り上げることについて学びます。
- アナリーゼ: 楽曲分析を通じて作品を客観的に理解し、演奏に生かすことを学びます。
- 伴奏法: 歌と器楽の伴奏を通してアンサンブルの耳を養い、伴奏の役割を学びます。



器楽専攻(鍵盤楽器)2年 H.Nさん

響きあう場所で、自分に出会う。

ピアノは一人で取り組む時間が多い楽器ですが、この学校では伴奏やアンサンブルの機会が沢山あります。多彩な響きに包まれてともに音を重ねていく日々は、これまでにない発見と感動の連続です。毎週の実技レッスンでは深い学びがあり、自分とじっくり向き合う環境が整っています。技術だけでなく音楽に向き合う姿勢を見つめ直すことができました。ここで出会えた仲間や経験が、間違いなく私の音楽を育ててくれていると感じています。



器楽専攻

弦楽器

ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／
コントラバス／ハープ／
クラシックギター



指先から紡ぐ、旋律の美学。

器楽専攻(弦楽器)の特徴

感情や情景を豊かに表現することができる深い音色で、音楽文化の発展に多大な影響を与えてきた弦楽器。1本1本の弦から奏でられる豊かな響きや、心地よい余韻を感じさせる残響は、時に観客を音楽で包み込む力があります。また、その音の輝きはソロだけでなく、さまざまな編成のアンサンブルでも観客を魅了します。他楽器とのアンサンブルを通して協調性を意識しながら、個性も伸ばす。音楽家としても人としても豊かなコラボレーションを生み出せるよう、あなたの創造性を本校で磨き上げます。

器楽専攻(弦楽器)の生徒のための音楽科目

- 室内楽: ピアノ、弦、管楽器、打楽器、ハープ、クラシックギターのアンサンブルを通じ、協調力や連携力を養います。他楽器の特性を学び、音楽の多様性を体験する貴重な機会です。
- オーケストラ: 共演によって技術を磨き、音楽的な表現力を深めます。演奏を通じて協調力やリーダーシップを学び、文化理解と個々の芸術成長を促進する重要な教育プログラムです。

Student's Voice♪



器楽専攻(弦楽器) 2年 Y.Nさん

競争ではなく、協奏する心。

本校では、個々の実技や音楽性を高めると同時に、室内楽やオーケストラの授業を通して『ともに奏でる音楽』を学ぶことができます。一人ではできない、仲間たちがいてこそそのアンサンブル授業は、かけがえのない貴重な体験。また、東京音楽大学で指導をしている偉大な先生方に師事できることは、これ以上ないほどの幸せです。最初の頃は焦燥感や不安が生まれてくるのは当たり前のことですが、先輩や仲間たちと和気藹々と過ごすにつれて楽しさやたくましい精神へととなり、より広くより深き音楽の学習へと繋がります。



器楽専攻

管打楽器

フルート／オーボエ／クラリネット／
ファゴット／サクソフォン／ホルン／
トランペット／トロンボーン／ユーフォニアム／
テューバ／アコーディオン／打楽器



重なり合い、鳴り響く、至福の時間を過ごそう。

器楽専攻(管打楽器)の特徴

さまざまな音楽作品とともに表現や奏法を発展させてきた管打楽器。その魅力は、息づかいや音の強弱、奏者の個性によって変化する、音色の豊かさにあります。さらに、小編成のユニットから吹奏楽、オーケストラと、さまざまな編成で多彩な魅力を発揮する管打楽器。他の奏者と息を合わせて創りあげるアンサンブルの響きは格別です。演奏する楽器の役割やハーモニーを多角的に理解する洞察力と視野の広さ、そしてそれを緻密に表現するための技術力を本校で磨き上げましょう。

- 木管楽器:フルート/オーボエ/クラリネット/ファゴット/サクソフォン
音楽的表現や各楽器のもつ特色を磨き、テクニックとともに豊かな響きが得られることを目標に指導。オーケストラ・吹奏楽・室内楽を通してアンサンブルを体験し、それぞれの楽器の役割や合奏の基礎を学びます。
- 金管楽器:ホルン/トランペット/トロンボーン/ユーフォニアム/テューバ
エチュード、ソロ曲、オーケストラ・吹奏楽作品を学年、個人の能力に応じてきめ細かく指導します。曲の選定も特定の時代に偏ることなく、さまざまな分野に対応できる実力を身につけることを目指しています。オーケストラ・吹奏楽・室内楽を通してアンサンブルを体験し、それぞれの楽器の役割や合奏の基礎を学びます。
- 気鳴楽器:アコーディオン
多様な音楽ジャンルやスタイルを学ぶことで、生徒たちは音楽の世界を探求し、興味や個性に合った表現を見つめられます。
- 打楽器
複数の教員が専門実技を担当しており、生徒は各自の意思により教員を選択できます。レッスンは、一般的な打楽器(ティンパニ/小太鼓など)と鍵盤打楽器(マリンバ)の双方が必修となっています。また、オーケストラ・吹奏楽・室内楽を通してアンサンブルを体験し、それぞれの楽器の役割や合奏の基礎を学びます。

管打楽器専攻の生徒のための音楽科目

- オーケストラ:主に古典派からロマン派に至る作品を取り上げ、合奏の基礎を学びます。
- 吹奏楽:自分の発信したい音楽を考え、合奏の中でそれを具現化することについて学びます。
- 室内楽:ピアノ、弦、管楽器、打楽器、ハープ、クラシックギターのアンサンブルを通じ、協調力や連携力を養います。他楽器の特性を学び、音楽の多様性を体験する貴重な機会です。

Student's Voice♪



器楽専攻(管打楽器)2年 S.Yさん

アンサンブルで 一期一会の体験を。

管打楽器は、吹奏楽、オーケストラ、室内楽などのアンサンブル授業を通して、さまざまなジャンル、作曲家の作品を学ぶことができます。仲間と協力して一つのものを創り上げていく工程は音楽高校でしか味わえない、かけがえの無い経験です。さらに、東京音大の先生方から個人レッスンはもちろん、アンサンブルの授業でも、技術的・音楽的に多角的な指導を直接受けることができます。個性豊かな仲間たちと切磋琢磨して己の音楽性を高め合っていくことで、高校生活をより豊かにすることができますと実感しています。



作曲 専攻



作曲専攻の生徒が創作した作品を、器楽専攻の生徒が演奏しました

新しい時代に、共鳴する世界を創ろう。

作曲専攻の特徴

自らのもつ世界観を音に変え、作品を生み出す作曲家。これまでの歴史で培われてきた伝統を継承しながらも、新たな音楽のあり方を見据えて作曲するためには、知識はもちろん多角的な視野と創造性を必要とします。本校では第一線のプロとして活躍する教員のもと、それぞれの生徒のニーズに合わせて古典から現代に至る作曲技法を総合的に学びます。芸術音楽をベースにしながらも、希望する生徒に対しては、劇音楽やゲーム音楽など多様なメディアに対応した創作のための指導ができる体制を整えています。各自が目標とする分野のレッスンを自由に受け、創作活動の幅を広げられる環境です。

東京音楽大学に学校推薦型選抜で進学する場合には、作曲指揮専攻(芸術音楽コース)に推薦されることになりますが、作曲指揮専攻(ミュージック・メディアコース)への転専攻も可能です。第3学年に進級する際にオーディションに合格することで、ミュージック・メディア準備コースに入ることができ、作曲専攻(ミュージック・メディアコース)への転専攻試験に向けたより専門的な学習の機会が用意されています。

作曲専攻の生徒のための音楽科目

- アナリーゼ: 楽曲分析を通じて作品を客観的に理解し、演奏に生かすことを学びます。

作曲活動に役立つ種々の学修機会

- 吹奏楽: 初心者でも履修することができます。各パート別に楽器の基本的な奏法から学びます。
- 合唱: 混声合唱による、自然な発声のための姿勢や呼吸法などを学びます。

Student's Voice♪



作曲専攻 3年 M.Kさん

響き渡る仲間の音に、 作曲するよろこびを実感する。

毎日、充実した曲作りの日々を実感しています。どのようなジャンルの曲を書いても、それをすぐに演奏してくれる素晴らしい仲間がたくさんいること。そして、そうした発表の機会が多いところが、本校のなによりの強みだと感じています。特に、卒業式と入学式の式典で私の作ったオーケストラ曲が演奏された際には、ホールに響き渡る生の音に、これまでにない感動を覚えました。また、曲作りだけでなく、レッスンでは和声もしっかり学べるので、新しい発見がたくさんあり、音楽家として日々成長を感じています。



音楽総合 コース



音楽で生きていく、能力を磨く。

音楽総合コースの特徴

将来、音楽関連の仕事に進みたいと思っている生徒向けに、音楽の基礎的な能力を身につけられる指導体制を整えた学びの場です。音楽教育の現場で指導するためには広範囲の知識、経験が必要となります。複数の楽器の実技レッスンを履修することによって、希望する楽器の知識を得る機会を設けています。自らさまざまな状況に対応できる能力を養うために、音楽総合コースでは、独自のカリキュラムを採用するなど、他の専攻とは違う特徴があります。

音楽総合コースの生徒のための科目

- コンピュータと音楽：シンセサイザーの基本的な操作方法を学びます。第一線で活躍を続けている講師陣が授業を担当します。
- 音楽教育実践講座：ピアノを用いた指導法を修得します。またピアノの演奏表現、演奏指導の在り方について模擬授業・ロールプレイを通じて学びます。
- 音楽総合コース特別講座：担当教員が専門性と関心を活かし、生徒の主体性を引き出す授業です。たとえば、絵画や詩からどのような音楽が生まれるかを想像し、それに音楽を付けた作曲家の作品を楽譜から読み解くといった探究的な学びを展開。芸術を横断する体験を通じて、音楽を多面的に理解する力を育みます。また、生徒自身が「教える立場」を体験し、「他者の気づきを引き出す問い」を考える実践も実施。音楽教育に必要な基礎知識を学び、ディスカッションを通じて自身の未来を描くきっかけを得られます。

Student's Voice♪



音楽総合コース 2年 Y.Yさん

音楽への探求と発見が、 私の世界を広げていく。

本コースでは同級生や先生方と作曲家や曲の構成を深くディスカッションし、多角的な視点から音楽の本質に迫ります。教育法や指揮法、シンセサイザーを用いた映像音楽制作などの実践的な学びを通し、従来の枠にとらわれない音楽表現を探究できるのが魅力。これらの新しい経験や知識により、今まで想像もできなかった新たな自分の可能性を見つけることができ、かけがえのない時間を過ごしていることを実感しています。音楽に対する探求心と創造性を育むこのコースで、ぜひあなたも自身の可能性を広げてみませんか。

音楽総合コース

セルフ デザイン クラス



粘土で創った「かたち」を「音楽」へ変換する授業で、
既成概念にとらわれない表現力を育みます

未来を描き、クリエイティブに生きる。

Student's Voice♪



音楽総合コース・セルフデザインクラス
3年 A.Sさん

**体験をデザインする。
それは、生き抜くチカラ。**

「クリエイティブって何？」これは僕が初めてこのクラスを知った時に抱いた問いでした。今の僕には、自分なりの答えがあります。それは「人の体験をデザインする」ということ。音楽には単なる音を超えて、空間を創り、人々の心になにかを深く届けるチカラがある。僕はそう信じています。このクラスでは、音楽と自分を掛け合わせることで生まれる「つくりたい」という気持ちを軸に、変動する未知の社会を生き抜くチカラを身につけることができます。音楽に、社会に、そして自分に、ワクワクしましょう。

音楽総合コース・セルフデザインクラスの特徴

音楽総合コース内に設けられた「セルフデザインクラス」は、『感性を育み、自分が実現したい未来を描き、それを構築できる力をもった人材の育成』を目標としています。自分自身が興味をもっている分野やテーマを選び、自己表現の方法を探求することができます。さまざまな分野の学びを融合させながら、自分なりのアイデアを創造し、実現することを目指しています。自己表現をするだけでなく、社会問題や地域の課題などを解決するために、自分たちの創造力や力を社会に向けて発揮することも重視しています。自己実現のためのスキルを身につけながら、社会に貢献することができる人材に成長させるプログラムを用意しました。また、入学の段階では音楽に関する能力や知識がなくとも、3年間で音楽大学に進学できるレベルの基礎力を身につけることができます。実技レッスンではピアノと作曲を中心に学び、音楽を使って社会で幅広く活躍するためのスキルを修得します。

特徴的なカリキュラム・プログラムの一部

- 作曲創造：基本的な作曲技法や、デジタルデバイスを用いた音楽制作（デスクトップミュージック）を学びます。一人ひとりの進度に合わせたレッスン形式で行われる授業です。第一線で活躍を続けている講師陣が授業を担当します。
- 特別講座と研究発表：音楽を軸に、他分野の学びと社会のリアルをつなげる特別講座を実施します。多彩なゲストとの出会いを通して、生徒は自身の問いを深め、卒業研究としてその成果を発表します。

卒業後の進路

東京音楽大学への進学

東京音楽大学への進学

東京音楽大学の学校推薦型選抜(東京音楽大学付属高等学校)に出願し、判定により進学することができます。

出願資格

- ①出願基準を満たし、校長から推薦された者
- ②出願先は原則として高校3年次に所属している専攻と同じ専攻とする
※「音楽総合コース」は「東京音楽大学音楽文化教育専攻」へ推薦。
※実技試験を別途受験することにより他専攻・楽器への転専攻も可能。

東京音楽大学に進学するメリット

大学進学も安心

- ・学校推薦型選抜で東京音楽大学へ
- ・受験勉強の時間を他の学びに使える

コストパフォーマンスがよい

個人レッスン代や楽典、ソルフェージュ(聴音)の勉強など、受験までにはさまざまな費用がかかり、一般高校(公立校)に進学しても、本校で学んでも音楽大学に進学するまでの経済的差があまりない。

第一志望合格率 **90%以上**

過去3年間の進学実績

	2022	2023	2024
東京音楽大学	90.9%	85.0%	89.6%
他音楽大学・他大学	5.1%	5.0%	6.8%
専門学校	0.0%	0.0%	0.0%
留学・留学準備	1.2%	5.0%	0.0%
就職	0.0%	0.0%	0.0%
受験準備・未定	2.5%	5.0%	3.3%

過去3年間の進学実績

東京藝術大学	武蔵大学
桐朋学園大学	東海大学
昭和音楽大学	駒澤大学
武蔵野音楽大学	ロイヤル・カレッジ・オブ・ミュージック(イギリス)
上智大学	

入学試験・学費

2026年度 推薦入学試験

- 募集人員:第1学年35名(男女)
- 募集専攻:声楽/器楽(ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コース、ヴァイオリン、ヴァイオラ、チェロ、コントラバス、ハーブ、クラシックギター、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム、アコーディオン、打楽器)/作曲/音楽総合コース/音楽総合コース・セルフデザインクラス
- 出願期間:2026年1月15日(木)~17日(土)
- 試験日程:2026年1月22日(木)~23日(金)
- 合格発表:2026年1月24日(土)
- 入学試験科目:作文、面接、専攻別実技

2026年度 一般入学試験 第1回

- 募集人員:第1学年35名(男女)
 - 募集専攻:声楽/器楽(ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コース、ヴァイオリン、ヴァイオラ、チェロ、コントラバス、ハーブ、クラシックギター、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム、アコーディオン、打楽器)/作曲/音楽総合コース/音楽総合コース・セルフデザインクラス
 - 出願期間:2026年1月26日(月)~2月4日(水)
 - 試験日程:2026年2月10日(火)~11日(水・祝)
 - 合格発表:2026年2月12日(木)
 - 入学試験科目(声楽・器楽・作曲専攻):英語、国語、楽典、聴音、コールユーブンゲン、面接、副科ピアノ(声楽・作曲専攻のみ)、専攻別実技
 - 入学試験科目(音楽総合コース):英語、国語、楽典、ソルフェージュ(コールユーブンゲンまたは聴音のどちらかを選択)、面接、実技
 - 入学試験科目(音楽総合コース・セルフデザインクラス):英語、国語、作文、自己PR、面接
- ※「英語」の試験は、実用英語技能検定準2級以上の資格を有する者は免除します。

海外帰国子女特別入学試験・外国人特別入学試験

出願資格等の詳細は、『2026年度生徒募集要項(2025年10月上旬にWebサイトで発表)』で発表いたしますが、受験希望者は必ず事前に下記までお問い合わせください。

Tel:03-3988-6214 Mail:fuzoku_koko@tcm-koko.ed.jp

2026年度 学費・諸経費

- 学費:912,000円
- [内訳/入学金120,000円、授業料554,000円、施設等維持費202,000円、その他の経費36,000円]
- 制服(学校指定):男子105,000円~ 女子125,000円~
- 体操着(学校指定/男女同デザイン):26,000円~
- 給食費(年額):85,000円~88,000円
- ※ 授業日(月曜日~金曜日)の昼食は全校生徒に給食を提供しています。
- 補助教材費(年額):40,000円~
- 校外学習費(2年次に実施):100,000円
- ※研修場所と実施期間により変動する場合があります。

奨学金制度

- 【学校法人東京音楽大学独自の奨学金】
学業及び実技成績が優秀な生徒に、下記の奨学金制度が設けられています。
- 東京音楽大学付属高等学校特別特待奨学生
 - 東京音楽大学付属高等学校奨学金
給費入学奨学金(新入生対象) ①特別 ②甲種 ③乙種
特待生奨学金(2年生、3年生対象) ①特別 ②甲種 ③乙種

【その他の奨学金】
各種の奨学金制度の案内や手続きを支援いたします。
(国の就学支援金等、東京都の授業料軽減助成金(都民対象)、奨学給付金(都民対象)、育英資金、他)

2025年度 講習会・学校説明会

備えあれば、挑戦は楽しみになる。

本校は、音楽高校受験に挑む、すべての中学生のみなさんを応援しています。

中学校の授業では学ぶことのできない音楽の正しい勉強法を修得し、受験へ向けて効率的に準備していきましょう。

受験講習会(有料) 本校受験希望の方には、講習会の受講をお勧めします。

- 日程: 夏期受験講習会2025年8月1日(金)～4日(月)／冬期受験講習会2025年12月23日(火)～26日(金) ※日程は変更になる場合があります
- 申込期間: 夏期受験講習会2025年6月19日(木)～7月4日(金) 23:59／冬期受験講習会2025年11月8日(土)～28日(金)23:59
- 対象: 中学1年生～中学3年生
- 受講科目: 専攻実技レッスン・楽典・聴音・コールユーブンゲン・英語・国語・作文(一般教科は中学3年生のみ)
- 受験講習会要項: 本校Webサイトで発表いたします(夏期受験講習会:6月下旬／冬期受験講習会:10月下旬)

無料体験会 「楽典」「聴音」を学ぶ最初の一步として最適な機会です。

- 日程: 春学期無料体験会2025年5月24日(土)10:00～12:00
秋学期無料体験会2025年9月27日(土)10:00～12:00
- 対象: 小学5年生～中学2年生
- 詳細はWebサイトで発表いたします

音楽基礎教育コース(有料) 聴音・楽典を勉強したいけれど勉強法がわからない…! 指導者が見つからない…! そんな受験生のための講座です。

- 日程: 春期音楽基礎教育コース2025年4月12日(土)～7月12日(土)・全12回／秋期音楽基礎教育コース2025年9月13日(土)～12月13日(土)・全12回
- 対象: 中学1年生～中学3年生
- 受験科目: 楽典・聴音
- 詳細はWebサイトで発表いたします

進学相談会

- 2025年 8月 1日(金)学校説明会・夏期受験講習会初日@東京音楽大学池袋キャンパス
- 2025年 8月23日(土)／24日(日)東京都私学展@国際フォーラム
- 2025年12月23日(火)学校説明会・冬期受験講習会初日@東京音楽大学池袋キャンパス

学校見学・個別相談

予約制となりますので、希望者は電話かメールにてお問合せください。

Tel:03-3988-6214

Mail:fuzoku_koko@tcm-koko.ed.jp

制服



ポストンバッグ



リュックサック

2025年度 教職員・実技レッスン担当教員

教職員

武石 みどり	校長
國分 正頼	教頭
石川 智子	教頭
林 興史	主幹教諭
櫻井 真子	音楽科主任
永瀬 文子	事務長
砂川 博文	教諭
津々見 由里	教諭
青山 里子	教諭
上條 晃	教諭
三村 浩輔	教諭
崎 沙也加	教諭
前田 朱つみ	教諭
山本 なつみ	養護教諭
平原 憲文	高大連携センター
石川 義晃	事務
大沼 詩織(公認心理士)	カウンセラー
海老澤 香葉恵(臨床心理士)	カウンセラー

講師

ダイアナ・ツルダ	英語
アレクサンダー・シディック	英語
大木 朗子	英語
東儀 恵理	英語
大石 徹彦	理科
齋藤 隆	理科
小玉 あゆみ	家庭
千葉 照子	美術
松原 里紗	保健体育
河村 泰子	音楽史・鑑賞研究・小論文講座
河内 春香	音楽史・演奏研究
菊池 知子	音楽理論・SOL・アナリーゼ
北山 碧	SOL
中瀬 千央	音楽理論・SOL
堀 那苗	音楽理論・SOL
谷口 真実子	音楽理論・SOL
高橋 千佳子	SOL・音楽理論・アナリーゼ
石原 勇太郎	アナリーゼ
醍醐 蘭佳	副科声楽・合唱・声楽演習
浅井 千裕	オーケストラ・室内楽

上田 敏子	オーケストラ・室内楽
齋藤 順	オーケストラ・室内楽
杉原 茂範	オーケストラ・室内楽
鈴木 龍一	オーケストラ・室内楽
新井 昂	オーケストラ・室内楽
後藤 詩絵	吹奏楽S・室内楽
麻生 康平	吹奏楽S・吹奏楽A・室内楽
砂川 博文	吹奏楽A
津々見 由里	音楽療法
伊藤 真紀	音楽療法
大田 智美	Aコーディオン

兼任講師

アダム・マーフィ	英語
山下 馨	英語
金子 つゆき	独語・副科声楽
岸・ツグラッゲン・エヴェリン	独語
白石 嘉治	仏語
真弓 めぐみ	伊語
リック・オヴァトン	音楽理論
植田 彰	音楽理論
嶋田 留美	音楽理論・SOL
河野 泰子	音楽理論・SOL
黒澤 麻美	副科声楽
藤井 奈生子	副科声楽
成瀬 当正	SOL・副科声楽
追川 芽以	SOL
竹澤 透	SOL(補習クラス担当)
浅井 隆仁	合唱・声楽演習
杉野 正隆	声楽演習
只野 なつき	伴奏法・ピアノ演習・音楽教育実践講座
前田 美恵子	合唱・声楽演習
中丸 知美	副科声楽・合唱・声楽演習
八木 智子	声楽演習
藤巻 希美彦	声楽演習
中瀬 千央	オーケストラ
河上 隆介	オーケストラ
横山 俊朗	オーケストラ・室内楽
荒井 智子	オーケストラ・室内楽
奥田 雅代	オーケストラ・室内楽
朴 賢娥	オーケストラ・室内楽
古部 賢一	オーケストラ

重松 希巳江	オーケストラ
杉本 正毅	オーケストラ
森 博文	オーケストラ
柴原 誠	室内楽・吹奏楽S・オーケストラ
堀尾 尚男	オーケストラ
アンドレ・アンリ	吹奏楽S
蓼沼 雅紀	吹奏楽S
西久保 友広	室内楽・吹奏楽S
井上 亮	室内楽・オーケストラ
岩佐 和弘	室内楽
副田 真之介	室内楽
神谷 百子	室内楽
久保 昌一	室内楽
山田 徹	室内楽
江間 常夫	室内楽
齋藤 里菜	室内楽
安田 正昭	伴奏法
新見 浩子	伴奏法・室内楽
半澤 佑果	伴奏法
吉田 友昭	ピアノアンサンブル
高田 匡隆	ピアノアンサンブル
渚 智佳	ピアノアンサンブル
増井 信貴	指揮法
黒澤 麻美	指揮法
藤井 奈生子	指揮法
菅原 達郎	指揮法
林 秀幸	コンピューターと音楽
土屋 真仁	コンピューターと音楽・DTM
石川 洋光	コンピューターと音楽
梅野 絵里	コンピューターと音楽

実技レッスン担当教員

声楽専攻

釜洞 祐子	教授
菅 有実子	教授
横山 恵子	教授
小森 輝彦	教授
服部 洋一	教授
志村 文彦	教授
緑川 まり	准教授
秋山 隆典	准教授
伊達 英二	准教授
星 洋二	准教授
杉野 正隆	特任准教授
安達 さおり	専任講師
萩原 みか	専任講師
野田 ヒロ子	講師
藤井 奈生子	講師
武田 正雄	講師
藤牧 正充	講師
黒澤 麻美	講師
倉石 真	講師
高橋 淳	講師
川原 敦子	講師
浅井 隆仁	講師
成瀬 当正	講師
嘉目 真木子	講師
九嶋 香奈枝	講師
林 正子	講師
高橋 洋介	講師
三宅 理恵	講師
ジョ・ハオ	講師
小泉 詠子	講師
成田 伊美	講師

器楽専攻(鍵盤楽器)

石井 紀子	教授
大竹 紀子	教授
稲田 潤子	教授
川島 基	教授
挿本 枝未子	客員教授

菊地 麗子	客員教授
武田 真理	客員教授
佐藤 俊	客員教授
岡田 敦子	客員教授
迫 昭嘉	特任教授
東 誠三	特任教授
ギグラ・カツアラヴァ	特任教授
浦壁 信二	特任教授
安田 正昭	特任教授
川上 昌裕	准教授
広瀬 宣行	准教授
御邊 典一	准教授
松本 和将	准教授
石井 理恵	准教授
高田 匡隆	准教授
渚 智佳	准教授
長川 晶子	専任講師
海野 義雄(ヴァイオリン)	客員教授
吉田 友昭	専任講師
仲田 みずほ	専任講師
後藤 彦大	専任講師
浜野 与志男	専任講師
石岡 千弘	専任講師
佐藤 陽一(ヴァイオリン)	専任講師
佐藤 由紀子	講師
梅根 恵	講師
小林 由佳	講師
宮崎 和子	講師
野中 正	講師
後藤 美由紀	講師
森 早苗	講師
山口 泉恵	講師
相馬 泉美	講師
河邊 亮子	講師
島田 美穂	講師
松本 愛	講師
樋口 愛	講師
山辺 絵理	講師
森山 あす香	講師
半澤 佑果	講師
海瀬 京子	講師
智内 威雄	講師

新見 浩子	講師
江夏 真理奈	講師
橘高 昌男	講師
大崎 結真	講師
片田 愛理	講師
中野 翔太	講師
伊賀 あゆみ	講師

器楽専攻(弦楽器)

大谷 康子(ヴァイオリン)	教授
荒井 英治(ヴァイオリン)	教授
木野 雅之(ヴァイオリン)	教授
神尾 真由子(ヴァイオリン)	教授
竹澤 恭子(ヴァイオリン)	教授
ドミトリー・フェイギン(チェロ)	教授
山本 裕康(チェロ)	教授
海野 義雄(ヴァイオリン)	客員教授
山口 裕之(ヴァイオリン)	客員教授
店村 真積(ヴィオラ)	客員教授
菊田 雅治(チェロ)	客員教授
星 秀樹(コントラバス)	客員教授
藤原 浜雄(ヴァイオリン)	特任教授
小栗 まち絵(ヴァイオリン)	特任教授
原田 幸一郎(ヴァイオリン)	特任教授
横山 俊朗(ヴァイオリン)	特任教授
百武 由紀(ヴィオラ)	特任教授
毛利 伯郎(チェロ)	特任教授
鈴木 秀美(チェロ)	特任教授
吉田 秀(コントラバス)	特任教授
篠崎 史子(ハープ)	特任教授
荏村 清志(クラシックギター)	特任教授
中村 静香(ヴァイオリン)	准教授
門脇 大樹(チェロ)	准教授
鈴木 亜久里(ヴァイオリン)	専任講師
嶋田 慶子(ヴァイオリン)	講師
館市 正克(ヴァイオリン)	講師
中川 直子(ヴァイオリン)	講師
近藤 薫(ヴァイオリン)	講師
大野 かおる(ヴィオラ)	講師
佐々木 亮(ヴィオラ)	講師
朴 賢娥(チェロ)	講師

永島 義男(コントラバス)	講師
西山 真二(コントラバス)	講師
江間 常夫(クラシックギター)	講師

器楽専攻(管打楽器)

相澤 政宏(フルート)	教授
古部 賢一(オーボエ)	教授
野田 祐介(クラリネット)	教授
水谷 上総(ファゴット)	教授
小串 俊寿(サクソフォーン)	教授
森 博文(ホルン)	教授
アンドレ・アンリ(トランペット)	教授
杉本 正毅(トランペット)	教授
栗田 雅勝(トロンボーン)	教授
吉川 武典(トロンボーン)	教授
外園 祥一郎(ユーフォニアム)	教授
露木 薫(ユーフォニアム)	教授
神谷 百子(打楽器)	教授
久保 昌一(打楽器)	教授
津堅 直弘(トランペット)	客員教授
菅原 淳(打楽器)	客員教授
岡本 健司(クラリネット)	特任教授
松崎 耕二(トランペット)	特任教授
新田 幹男(トロンボーン)	特任教授
池田 幸広(チューバ)	特任教授
山田 徹(打楽器)	特任教授
工藤 重典(フルート)	特別招聘教授
宮本 文昭(オーボエ)	特別招聘教授
四戸 世紀(クラリネット)	特別招聘教授
水野 信行(ホルン)	特別招聘教授
杉山 康人(チューバ)	特別招聘教授
嶋田 慶子(打楽器)	特別招聘教授
前田 綾子(フルート)	准教授
重松 希巳江(クラリネット)	准教授
福川 伸陽(ホルン)	准教授
中野 真理(フルート)	客員准教授
岩佐 和弘(フルート)	特任准教授
伊藤 圭(クラリネット)	特任准教授
甲斐 雅之(フルート)	講師
神田 勇哉(フルート)	講師
南方 総子(オーボエ)	講師

荒 絵理子(オーボエ)	講師
副田 真之介(オーボエ)	講師
小野寺 緑(クラリネット)	講師
勝山 大輔(クラリネット)	講師
宇賀神 広宣(ファゴット)	講師
長 哲也(ファゴット)	講師
波多江 史朗(サクソフォーン)	講師
本堂 誠(サクソフォーン)	講師
平野 公崇(サクソフォーン)	講師
吉永 雅人(ホルン)	講師
勝俣 泰(ホルン)	講師
日橋 辰朗(ホルン)	講師
五十畑 勉(ホルン)	講師
高橋 敦(トランペット)	講師
辻本 憲一(トランペット)	講師
長谷川 智之(トランペット)	講師
久保 亜莉沙(トランペット)	講師
澤田 真(トランペット)	講師
岸良 開城(トロンボーン)	講師
野々下 興一(トロンボーン)	講師
井口 有里(トロンボーン)	講師
井上 亮(トロンボーン)	講師
荻野 晋(チューバ)	講師
近藤 陽一(チューバ)	講師
岩黒 綾乃(ユーフォニアム)	講師
西久保 友広(打楽器)	講師
堀尾 尚男(打楽器)	講師
柴原 誠(打楽器)	講師
大田 智美(Aコーディオン)	講師

作曲専攻

藤原 豊	教授
原田 敦子	教授
梶場 富美子	客員教授
植田 彰	准教授
久田 典子	講師
伊左治 直	講師
喜久 邦博	講師
神山 奈々	講師
茂木 宏文	講師

年間行事

4

April

入学式
オリエンテーション



5

May

新入生歓迎演奏会
『室内楽・ソロ演奏会』



6

June

オーケストラ演奏会
吹奏楽S演奏会
体育祭



7

July

春学期実技試験



8

August

夏休み



9

September



2年生校外教室

10

October

秋学期開始
吹奏楽S演奏会



11

November

文化祭
定期演奏会



12

December

オペラ発表会
芸術鑑賞教室



1

January

吹奏楽S演奏会
秋学期実技試験



2

February



オーケストラ臨時練習

3

March

卒業演奏会
卒業式



一日の流れ



8:30~HR



8:00~ 登校

通学ルートは、池袋・目白・雑司が谷駅から。
元気な笑顔で1日がスタートします。

8:40~ 午前授業 (I限~IV限)

音楽科目はもちろん、一般教科の先生方の
熱い授業も、たくさん刺激があります。



12:10~ お昼休み

池袋キャンパス学食で給食。
みんなそろって「いただきます!」。憩いの時間です。



13:10~ 午後授業 (V限~VI限)

全学年共通で合唱・吹奏楽・オーケストラを
選択履修。保護者が授業を参観することもあります。

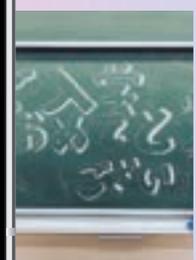


15:10~ 専攻別授業・実技レッスン

個別に分かれての専攻別授業やレッスン、
個人練習など。音高生ならではの時間です。



Webサイト・SNSで最新情報をチェックしよう!



フォローしてね♪

学校生活はこんな感じ!

